

3 寝具(ふとん)類

1. 日本のマーケット事情

(1) 品目の定義

ふとんは通常、綿・麻などの植物性繊維、羊毛・羽毛・絹わた・らくだなどの動物性繊維、ポリエステル・アクリルなどの化学繊維を充填物にして、各種の側生地(がわきじ)で包んだ寝具のことをいう。ここでは、HS番号9404(寝具その他これに類する物品)のうち、マットレスや寝袋等を除いた、羽毛ふとん・羊毛ふとん・こたつふとん等のふとん類を当該品目とする。貿易統計上の分類及びHS番号は以下の通り。

HS番号	品目名
9404.90-010	羽毛ふとん
9404.90-020	人造繊維のみを詰物に使用したふとん
9404.90-030	羊毛・こたつ等その他のふとん類

(2) 市場動向

羽毛・羊毛などの動物性繊維には、外気変化に合わせて自然に収縮、膨張、吸湿、放湿、排水作用を行なうという優れた特性がある。羽毛ふとんの場合は軽量で保温性に優れ、通気がよく、汗の湿気を吸いとりは外へ放出するという作業が自動的に行なわれるため、温度、湿度の高い夏期に使用しても蒸れを感じさせない。また羊毛ふとんも保温性、弾力性に優れ、難燃性や汚れにくい等の利点を持つ。最近では両者の利点を生かして、敷きに羊毛ふとん、掛けに羽毛ふとんの組合せで使用されることが多い。また羊毛の含有率50%、ポリエステル50%等の混合タイプのふとんや、肌掛けタイプの羽毛ふとんなど、商品の多様化が進んでいる。

【羽毛ふとん】

羽毛の入ったふとんを通常「羽毛ふとん」と呼んでいるが、厳密には中わたとして使用される「羽毛」の基準によって、『羽毛ふとん』と『羽根ふとん』に分けられる。羽毛ふとんはダウン(水鳥の胸毛で柔らかい綿毛を指す)50%以上の羽毛を充填物としたものを指し、羽根ふとんは、ダウン50%以下で、他にスモールフェザー(小羽根)などを使用した充填物のものを指している。ダウン含有率の高いふとん程、軽量で崇高性(厚みやクッション性)に富み、高級品扱いになる。

欧米から輸入される羽毛ふとんの大半は羽根ふとんであり、これらは肌ふとんタイプの一般的に言われる「フェザーケット」である。1980年代後半の好況時、輸入ふとんの主流となっていたのは欧州などからの高級羽毛ふとんであった。しかし、バブル景気崩壊後、大手の量販店などが相次いで安価な羽毛ふとんを中国などから大量に輸入し、販売価格を引き下げたことから、羽毛ふとんが急激に普及した。しかし、こうした安価な羽毛ふとんに対する需要は短期間で一巡したため、市場は急速に縮小してしまったという経緯がある。近年の輸入品の多くも中国製の価格的に手頃な普及品タイプの羽毛ふとんであり、ヨーロッパからの高級品は少なくなっている。

【羊毛ふとん】

羊毛ふとん(ウール100%)は、ヨーロッパ(主にドイツ)からの輸入であるが、その量は少ない。これらは伝統的な加工方法による高級品が多い。

【こたつふとん】

日本固有のふとんであるが、ここ数年来、中国などからの輸入が急増しており、国産品では価格的に競合するのが難しくなっている。

寝具は生活必需品のなかでも耐久消費財に近く、もともと回転率の悪い商品であるが、ここ数年、ふとん類の国内市場は漸減傾向にある。羽毛・羊毛ふとん市場は成長期から成熟期に入っており、また中国からの低価格・良品質品の増加で、一般のふとんの価格低下が著しい。

ふとんメーカー各社は「健康、安全、快適」などをテーマに新しい付加価値をもった「21世紀型寝具」を提案することで、従来型寝具の買替需要を喚起しようとしている。睡眠科学の追求と最新の技術を駆使し、消費者のパーソナルニーズ、ライフスタイルの変化に対応する寝具の開発が共通の課題である。最近ではナノテクノロジーを利用した素肌に優しく、吸水性・速乾性に優れた新素材、アレルギーの原因となるアレルゲンを限りなくゼロに近づけた新素材、遠赤外線や抗菌性加工をした機能素材などを採用した新製品が続々投入されている。このような新しいタイプのふとん、形状を工夫した枕など、「快眠」をコンセプトとした寝具類の販売は好調である。

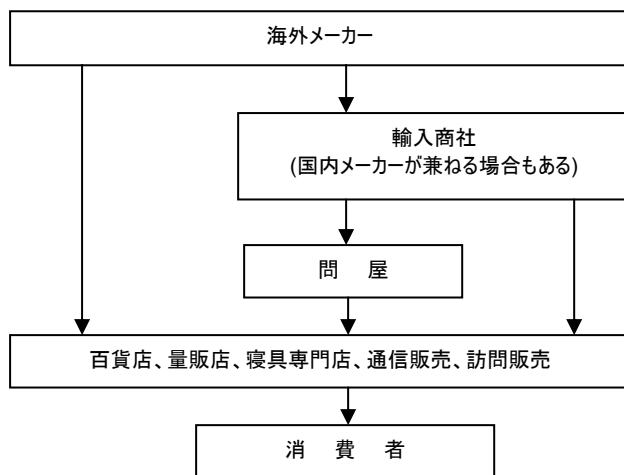
老若男女を問わず、日本人の約半数は「なかなか寝つけない」「眠りが浅い」「夜中に眼がさめる」「眠っても疲れがとれない」など、眠りに不満を抱いているという調査もあり、最近では寝具メーカー以外の企業からも「快適快眠」をコンセプトとした商品・サービスが相次いで登場している。例えば、住宅メーカーや住宅設備メーカーでは、質の良い眠りと快適な目覚めを提供するため、寝室全体の空調、音響、照明を最適制御した「快眠」仕様の商品の販売を始めている。また、都心部では、国内外ブランドのふとん、毛布、枕、パジャマなどの寝装品をトータルにコーディネートし、体圧測定や枕の高さ測定などでコンサルティングセールスを行う店や、「癒し」をテーマに、ハーブ、サプリメント、アロマセラピーオイルなどリラクゼーション・ヒーリング効果の高い商品との組み合わせで寝装品を提案する店など、新しい業態が登場している。

(3) 日本の流通・取引慣行

輸入ふとんの一般的な経路は、海外メーカー→輸入商社→問屋→小売店→消費者といった流通図式であったが、最近はこの経路の短縮が大幅に進んでいる。特に羽毛ふとんの場合、海外メーカー→輸入商社→小売店→消費者、または海外メーカー→大型小売店(量販店)→消費者、といった流れが主流である。

小売段階では、羽毛ふとんは量販店、通信販売などの量販ルートが多く、羊毛ふとんは百貨店の販売ルートが中心である。また、こたつふとんは通信販売、百貨店、量販店、寝具専門店、電器店などで販売されている。最近、通信販売ではカタログ通販が伸び悩む一方、インターネットやテレビショッピングが好調である。店頭販売では以前はふとんの小規模な専門店が多く存在していたが、最近ではこうした伝統的な専門店の数は漸減し、特に都心部では眠り全体をコーディネートした新しい業態の専門店が目立つ。

図表1 輸入寝具の流通経路

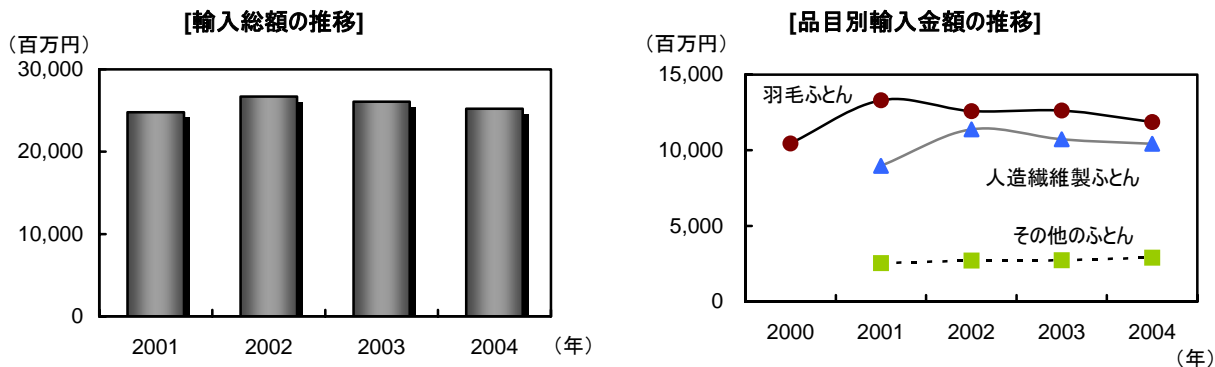


2. 貿易動向

(1) 日本の輸入動向

2004年におけるふとんの輸入は252億円(前年比3.4%減)、3万3,055トン(同3.5%減)の規模である。数量では人造繊維製ふとんが最も多く(1万8,672トン、56.5%)、金額では羽毛ふとん(118.7億円、47.1%)が人造繊維製ふとん(104.3億円、41.4%)を上回る(⇒図表2)。これらの大半が中国からの輸入であり、羽毛ふとん、人造繊維製ふとん、綿製や羊毛製など他のふとんの3品目ともに、数量ベースで97%以上、金額ベースでも90%前後の圧倒的シェアを誇る(⇒図表4~6)。他の繊維製品同様、日本メーカーの指導により中国の技術力が向上するにつれて、低価格・良品質のふとんが大量に輸入されるようになった。ただし、2004年には中国からの輸入が金額・数量ともに前年比減となり、ふとんの輸入全体もマイナス成長に終わっている。

図表2 寝具の輸入の推移



	金額					数量				
	2000	2001	2002	2003	2004	2000	2001	2002	2003	2004
羽毛ふとん	10,459	13,301	12,596	12,629	11,874	9,732	10,217	10,019	11,342	10,125
人造繊維のみを詰物に 使用したふとん	-	8,967	11,377	10,732	10,425	-	13,812	17,647	19,071	18,672
その他のふとん	-	2,532	2,705	2,728	2,908	-	3,130	3,180	3,846	4,258
合計	10,459	24,800	26,678	26,089	25,208	9,732	27,159	30,846	34,258	33,055
<参考> その他の寝具類	46,193	48,506	49,082	54,324	54,534	71,460	72,458	77,106	90,217	89,810

単位:金額=百万円、数量=トン

出所:財務省「貿易統計」

(注) 2000年まで、羽毛ふとん以外のふとんは「その他の寝具類」に含まれていた。

図表3 2004年における品目別輸入動向

	金額ベース			数量ベース			平均単価	
	金額	構成比	前年比	数量	構成比	前年比	2003年	2004年
羽毛ふとん	11,874	47.1%	94.0	10,125	30.6%	89.3	1,113	1,173
人造繊維のみを使用したふとん	10,425	41.4%	97.9	18,672	56.5%	97.9	563	558
その他のふとん	2,908	11.5%	106.6	4,258	12.9%	110.7	709	683
合計	25,208	100.0%	96.6	33,055	100.0%	96.5	762	763

単位:金額=百万円、数量=トン、前年比=%、平均単価=kgあたり円

出所:財務省「貿易統計」

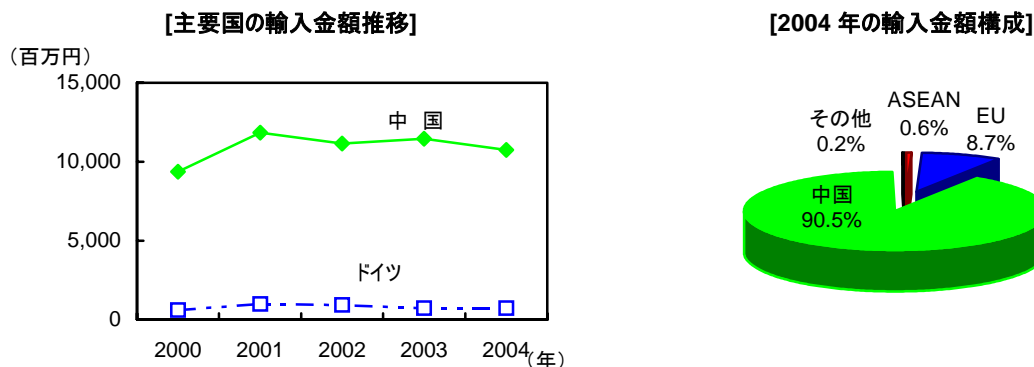
(2) 対日輸出国別内訳及びASEANのポジショニング

輸入ふとん市場は、中国が席巻している。金額ベースでみると、羽毛ふとんで90.5% (107.5億円)、人造繊維製ふとんで86.1% (89.8億円)、その他ふとんでも92.0% (26.8億円)を独占し(⇒図表4～6)、数量ベースでの全体シェアは98.2% (3万2,455トン)にも達している。その多くが日本企業による開発輸入品であり、近年は品質・縫製も目立って向上しているといわれている。ただし、2004年には中国からの輸入が3品目すべてで金額・数量ともに前年水準を下回り、圧倒的な価格競争力で市場に浸透してきた中国製品にも頭打ち感が出ている。

この他、量的には極めて少ないが、ドイツ、ハンガリー、ベトナム、デンマークなどから高級羽毛ふとんが、ベトナムやタイから人造繊維製ふとんが輸入されている。

ふとん全体に占めるASEANのシェアは、金額ベースで5.7% (14.4億円)、数量ベースで1.0% (340トン)にとどまる(⇒図表7)。ただし、2004年には中国が前年比減に終わったなかで、ASEANからの輸入は前年(13.7億円)を上回る水準を確保している。なかでも、ASEANが主力とする人造繊維製ふとんに限ると、ベトナムが第2位(7.8億円、シェア7.5%)、タイが第3位(5.3億円、5.1%)に位置し、合計12.6%のシェアを獲得している(⇒図表5)。中国製品より1ランク上の価格帯の製品として受け入れられており、近年は特にベトナムの伸びが目立つ。

図表4 羽毛ふとんの主要対日輸出国・地域

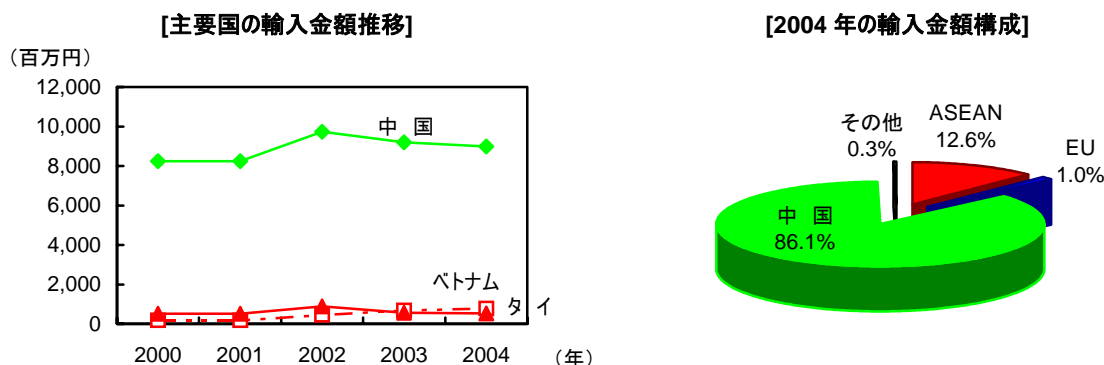


	2000	2001	2002	2003		2004				
	金額	金額	金額	金額	数量	金額	数量	平均単価		
中国	9,380	11,852	11,155	11,457	11,210	10,747	90.5%	9,992	98.7%	1,076
ドイツ	613	984	921	733	53	720	6.1%	63	0.6%	11,475
ハンガリー	218	174	221	188	30	169	1.4%	22	0.2%	7,655
ベトナム	5	51	52	73	18	63	0.5%	13	0.1%	4,780
デンマーク	0	4	47	40	6	43	0.4%	12	0.1%	3,457
その他	243	237	200	137	25	132	1.1%	23	0.2%	5,679
合計	10,459	13,301	12,596	12,629	11,342	11,874	100.0%	10,125	100.0%	1,173
(EU)	893	1,243	1,287	1,085	109	1,034	8.7%	113	1.1%	9,171
(ASEAN)	54	55	75	67	19	67	0.6%	18	0.2%	3,708

単位:金額=百万円、数量=トン、平均単価=kgあたり円

出所:財務省「貿易統計」

図表5 人造繊維製ふとんの主要対日輸出国・地域



	2001	2002	2003		2004				
	金額	金額	金額	数量	金額	数量	平均単価		
中国	8,251	9,728	9,205	18,641	8,981	86.1%	18,318	98.1%	490
ベトナム	174	455	688	150	781	7.5%	160	0.9%	4,888
タイ	520	889	564	103	531	5.1%	103	0.6%	5,130
デンマーク	2	12	47	21	75	0.7%	33	0.2%	2,305
韓国	6	3	27	45	22	0.2%	38	0.2%	573
その他	15	289	201	111	36	0.3%	19	0.1%	1,878
合計	8,967	11,377	10,732	19,071	10,425	100.0%	18,672	100.0%	558
(EU)	10	25	76	34	104	1.0%	48	0.3%	2,163
(ASEAN)	694	1,344	1,252	253	1,312	12.6%	263	1.4%	4,979

単位:金額=百万円、数量=トン、平均単価=kgあたり円

出所:財務省「貿易統計」

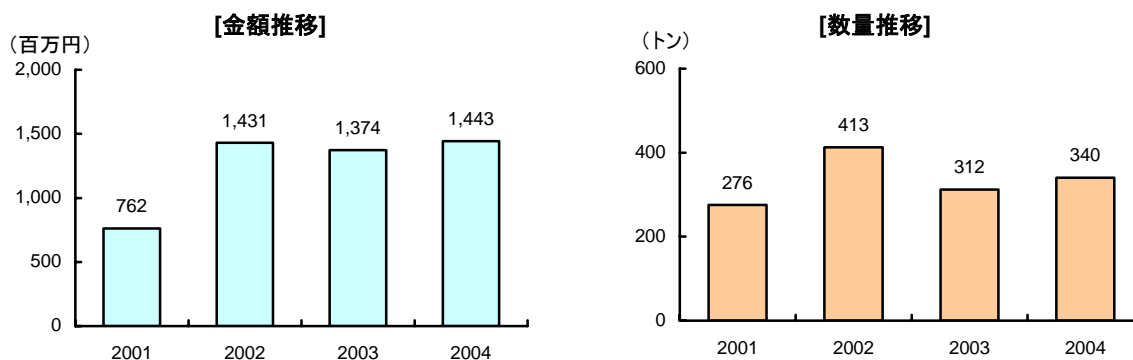
図表6 その他のふとんの主要対日輸出国・地域

	2001	2002	2003		2004				
	金額	金額	金額	数量	金額	数量	平均単価		
中国	2,381	2,407	2,500	3,741	2,675	92.0%	4,147	97.4%	645
ドイツ	52	53	101	31	61	2.1%	17	0.4%	3,644
ニュージーランド	66	175	35	11	60	2.1%	18	0.4%	3,353
タイ	1	30	45	39	59	2.0%	49	1.2%	1,197
デンマーク	-	15	1	1	21	0.7%	6	0.1%	3,489
その他	31	26	45	24	33	1.1%	21	0.5%	1,553
合計	2,532	2,705	2,728	3,846	2,908	100.0%	4,258	100.0%	683
(E U)	57	72	130	41	102	3.5%	31	0.7%	3,358
(ASEAN)	14	31	47	40	65	2.2%	59	1.4%	1,095

単位:金額=百万円、数量=トン、平均単価=kgあたり円

出所:財務省「貿易統計」

図表7 ASEANからの国別/品目別輸入の推移



		金額				数量				平均単価
		2001	2002	2003	2004	2001	2002	2003	2004	
ASEAN 合計	羽毛ふとん	54	55	75	67	27	19	19	18	3,708
	人造繊維製ふとん	694	1,344	1,252	1,312	232	368	253	263	4,979
	その他のふとん	14	31	47	65	17	26	40	59	1,095
	合計	762	1,431	1,374	1,443	276	413	312	340	4,240
	全体に占めるシェア	3.1%	5.4%	5.3%	5.7%	1.0%	1.3%	0.9%	1.0%	
バトナム	羽毛ふとん	51	52	73	63	25	17	18	13	4,780
	人造繊維製ふとん	174	455	688	781	57	137	150	160	4,888
	その他のふとん	-	-	-	5	-	-	-	9	585
	合計	224	507	761	849	82	154	168	182	4,661
	全体に占めるシェア	0.9%	1.9%	2.9%	3.4%	0.3%	0.5%	0.5%	0.6%	
タイ	羽毛ふとん	1	-	-	-	2	-	-	-	-
	人造繊維製ふとん	520	889	564	531	173	231	103	103	5,130
	その他のふとん	1	30	45	59	3	24	39	49	1,197
	合計	522	918	610	589	178	255	142	152	3,865
	全体に占めるシェア	2.1%	3.4%	2.3%	2.3%	0.7%	0.8%	0.4%	0.5%	
ミャンマー	-	-	-	4	-	-	-	5	830	
マレーシア	2	-	0	1	1	-	0	0	1,918	
インドネシア	12	2	1	0	14	2	1	1	690	
シンガポール	-	3	2	-	-	2	1	-	-	
フィリピン	2	0	-	-	1	0	-	-	-	
ラオス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
カンボジア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ブルネイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

単位:金額=百万円、数量=トン、平均単価=kgあたり円

出所:財務省「貿易統計」

(3) 国内市場における輸入品のシェア

中国での生産が本格化するにつれて、ふとん類の国内生産は急激に縮小し、また、商品単価の下落で市場自体が縮小している。そのなかで輸入品のシェアが年々上昇し、2003年時点では、羽毛ふとんで21.7%、羽毛以外の一般のふとんで19.3%となっている。また、ふとんの中に充填する羽毛・羽根や羊毛のほとんどは輸入品に依存している。デフレ化のなかで、価格引き下げニーズが高まるなか、国産品では価格的に太刀打ちできず、普及品市場では今後さらに中国やASEANへの依存度が高まるものとみられている。

図表8 国内市場に占める輸入品のシェア

	羽毛ふとん					羽毛以外のふとん		
	2000	2001	2002	2003	前年比	2002	2003	前年比
国内出荷	60,303	55,626	49,491	45,485	91.9	68,149	56,231	85.0
輸入	10,459	13,301	12,596	12,629	100.3	14,082	13,460	95.6
国内市場計	70,762	68,927	62,087	58,114	93.6	82,231	69,691	84.8
輸入品のシェア	14.8%	19.3%	20.3%	21.7%		17.1%	19.3%	

単位：百万円(工場出荷額ベース)、前年比＝%

出所：「工業統計表」(品目編)

国内出荷は、従業員4人以上及び経済産業大臣の指定する事業所を対象とする。

3. 対日輸出における留意点**(1) 日本における輸入時の規制・手続き**

ふとんの輸入に際して、輸入時の規制は特にない。

(2) 日本における販売時の規制・手続き

ふとんの販売に際しては「家庭用品品質表示法」、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」および「不当景品類及び不当表示防止法」の規制を受ける。また、羽毛ふとんの場合、羽毛の種類によって「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の規制を受ける可能性がある。

なお、「血行を良くする」、「背骨の歪みを整える」、「腰痛に効果がある」など、効果・効能を標榜することは薬事法違反となる点に注意する必要がある。

1) 家庭用品品質表示法

同法は、家庭で日常使われる商品について、品質表示のあり方について定め、商品選択の目安、正しい使用方法を知らせることで、消費者の利益を保護することを目的としている。ふとんの販売に際しては、同法により定められた事項について表示することが義務づけられている。表示のないものは販売することができない。(⇒(3) 表示規制)

2) 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律

寝具類に防虫加工剤や防炎加工剤などを使用している場合は、同法により含有する物質の基準が設けられている。ふとん類の輸入・販売を行う者は、同法の基準に適合しないものの販売、授与(またはそれを目的とした陳列)を行ってはならない。

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」により規制されている物質

有害物質	基準値	用途
略称DTTB	30 ppm 以下	防虫加工剤
略称APO	含有してはならない	防炎加工剤
略称TDBPP	含有してはならない	防炎加工剤
ビス(2-3-ジブロムプロピル)ホスフェイト化合物	含有してはならない	防炎加工剤
ディルドリン	30 ppm 以下	防虫加工剤
ホルムアルデヒド (* 生後24ヶ月以下の乳幼児用のもの)	吸光度差0.05以下 又は16 ppm 以下	樹脂加工剤

3) 不当景品類及び不当表示防止法

販売する商品等の内容について、一般消費者に優良と誤認させる誇大広告や虚偽表示などは、不当表示として禁止されている。ふとん類の場合、「最高級品質」、「高級羽毛をぜいたくに使用」、「羽毛を増量」など、客観的な根拠が不明確な表示は、優良誤認につながるおそれのある不当表示とされる。

また、特定の原産国を判別することが困難な紛らわしい表示も不当表示として禁止されている。なお「原産国」とは、その商品の内容について実質的な変更をもたらす行為が行なわれた国と定められている。

(3) 日本における販売時の表示規制**1) 法律に基づく義務表示****① 家庭用品品質表示法**

家庭用品品質表示法に基づく繊維製品品質表示規程で、表示すべき内容および表示にあたって遵守すべき事項が定められている。表示項目は、ふとんの側生地と詰め物の組成、表示者名と連絡先(住所あるいは電話番号)である。詰め物に綿、羊毛、羽毛などの繊維以外の物(例:ウレタンフォーム)が使用されている場合には、その物を表示することとされている。また、羽毛ふとんの場合はダウン、フェザーその他の羽毛別に混用率の表示が義務づけられている。

ふとんの表示例

ふとんがわ 綿 100%
詰物 綿 100%
(ウレタンフォーム使用)

〇〇繊維 株式会社
TEL 〇〇〇〇

2) 法律に基づく任意表示**① 消防法に基づく表示**

ふとんの側地、ふとん類の充填物類については、消防庁の指導により、防災製品認定委員会が作成した燃えにくい商品に「防災製品ラベル」を貼付することができる。これは強制マークではないが、ホテル・旅館等の不特定多数の使用場所および社会福祉施設などでふとん類を使用する際、このラベルのついた製品の使用が望ましいと、条例、通達で行政指導している地区もある。寝具類の認定項目には、防災テストのほかに毒性テストが含まれる。詳しくは下記に問い合わせのこと。

防災製品ラベル

問い合わせ先:(財)日本防災協会

TEL:03-3246-1661

<http://www.jfra.or.jp>

3) 業界自主表示**① ウールマークラベル**

羊毛ふとんについては、ザ・ウールマーク・カンパニーが設定した品質基準をクリアした製品に「ウールマーク」が付けられる。このマークは、ザ・ウールマーク・カンパニーがウールマークの添付を許可した工場において製造された羊毛ふとん(ウール100%)にだけ付けることができる。ウールマーク品質基準は、毛織物の種類や質量、油脂分率、キルティング方法(縫製)等の基準項目の他、防縮性・防虫剤含有率についてもガイドラインが表示されている。

ウールマークラベル

問い合わせ先: ザ・ウールマーク・カンパニー日本支社

TEL:03-5950-9371 (代)

<http://www.wool.co.jp>

② 防ダニ加工製品 統一マーク

(社)日本インテリアファブリックス協会、全日本寝具寝装品協会などの関連5団体で構成する「インテリアファブリックス性能評価協議会」では、ふとんなどの寝具・寝装品(及びカーペット)を対象とした「防ダニ加工製品自主基準」(1999年制定)を定め、これらの基準に合格した製品に統一マークを表示している。防ダニ基準にはダニを寄せつけない「忌避効果」と、ダニを増やさない「増殖抑制効果」についての基準値が定められており、防ダニ効果の持続性や加工薬剤の安全性も確認される。なお、この認定制度の対象は5団体の会員企業に限られる。

防ダニ加工製品 統一マーク

問合せ先: インテリアファブリックス性能評価協議会

TEL:03-3433-4521 (事務局:(社)日本インテリアファブリックス協会) <http://www.interior-seino.gr.jp>

(4) 新規参入時の留意点

ふとん類は、日本向けに自由に輸出することができる。しかし、ふとん類は充填物が外側の生地に含まれているので、外面からは中の品質がよくわからないという問題点がある。また羽毛や羊毛を充填したふとんの場合、防虫面での問題や、動物性繊維特有の臭いを持つなどの性質を持つ。したがって、日本に輸出する前に、防虫面や臭い等の品質面のチェックがなされていないと、粗悪品等のトラブルや、返品等のリスクが発生する原因になる。なお、日本では、製造物の欠陥により人の生命、身体又は財産に害を及ぼしたことが証明された場合、製造業者等の損害賠償責任について定め、被害者の保護を図る「PL(製造物責任)法」が制定されている。輸入品の場合は、輸入者がその責任を負うことになるので、品質管理はもちろん取扱説明書・注意表示等に留意することが必要である。不良品、交換等のアフターサービスについては販売店側で対応している。使用による穴あき・破れ等の補修については、有償で修理を受け付けている販売店もある。

(5) 関連品目の留意点

関連品目として、綿・羊毛・合繊等の毛布や、ベッドスプレッド及びベッドパッド等のベッド関連用品がある。これらに対する法規制はふとん類とほとんど変わらない。

(6) 関連法制の所轄官公庁

家庭用品品質表示法

経済産業省 商務情報政策局 消費経済部 製品安全課

TEL:03-3501-1511 (代)

<http://www.meti.go.jp>

有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律

厚生労働省 医薬食品局 審査管理課 化学物質安全対策室

TEL:03-5253-1111 (代)

FAX:03-3593-8913 (直通)

<http://www.mhlw.go.jp>

不当景品類及び不当表示防止法

公正取引委員会 経済取引局 取引部 消費者取引課

TEL:03-3581-5471 (代)

FAX:03-3581-1754 (直通)

<http://www.jftc.go.jp>

4. 日本の関税・消費税**(1) 関税**

ふとんの関税率は図表9の通りである。なお、事前に関税分類や関税率等を確認する場合、税関に対して口頭・文書・Eメールで照会を行い、回答を受けることができる「事前教示制度」を利用すると便利である。

問い合わせ先:税関ホームページ <http://www.customs.go.jp>

【特惠関税制度】

特惠受益国からふとんを輸入し、特惠関税の適用を受けようとする場合には、特惠受益国の税関などが発給する「特惠原産地証明書」(Form A)を添付する必要がある(総価額が20万円以下の場合には不要)。詳細は財務省 関税局へ確認のこと。なお、ASEAN諸国の関税率適用状況は以下のとおりである。

適用税率	国名
LDC特惠税率	ミャンマー、カンボジア、ラオス
一般特惠税率	タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム
日星協定税率	シンガポール
WTO協定税率	ブルネイ

図表9 ふとんの関税率

HS番号	品名	税率				
		基本	WTO協定	特惠	暫定	日星協定
9404.90	布団					A
-010	羽毛布団(羽または羽毛を詰物にしたもの)	4.6%	3.8%	無税		
-020	人造繊維のみを詰物に使用したもの	4.6%	3.8%	無税		
-030	その他のもの	4.6%	3.8%	無税		

注1) 日星協定(シンガポールを原産地とする貨物にのみ適用)欄の「A」は、協定の効力発生の日(2002年11月30日)から関税が撤廃されたことを意味する。

注2) 税率は原則として、日星協定税率、特惠税率、WTO協定税率、暫定税率、基本税率の順に優先して採用される。ただし、特惠税率は法令で定める要件を満たす場合に限り、WTO協定税率はそれが暫定税率又は基本税率より低い場合にのみ適用される。表の見方の詳細については、日本関税協会発行「実行関税率表」などを参照のこと。

(2) 消費税

(CIF+関税)×5%

5. 関連業界団体

- ・全日本寝具寝装品協会 TEL:03-3281-2679 FAX:03-3281-1720 <http://www.jba210.jp>
- ・全日本わた寝装品製造協同組合 TEL:03-3281-2714 FAX:03-3281-1720 <http://www.zennichimen.or.jp>
- ・日本羽毛寝具製造業協同組合 TEL:03-5649-2285 <http://www.nichiukyo.org>
- ・日本羽毛協会 TEL:03-3294-0108 FAX:03-3294-0129 <http://www.jda.gr.jp>